

2-④-② 地域の“おたから”を活用しよう

■対象：地域住民 ■人数：20人 ■時間：90分程度 ■手法：ラベルワーク

学習のねらい 地域の“おたから”について、知りたいこと、してみたいことを考えることで、地域の活動に参加（しようと）する意欲を高めることができる。

時間	学習の流れ	留意点	準備物
	<p>【はじめに】</p> <p>① 前回のグループで座る</p> <p>今日は、前回話し合った、“訪れたい場所”について、具体的に計画を立てていきたいと思います。 それでは、その前に少し心と体をほぐしましょう。</p>	<p>・新しく参加された方は、興味のあるテーマのグループに入るように伝える。</p>	<p>模造紙（前回の島をまとめたもの）を掲示</p>
20分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>① ○×アンケート ② 自己紹介 ・「名前と一言」</p>	<p>・後半の質問は、テーマにつながるものを出す。</p>	<p>○×の札（人数分）</p>
60分	<p>《はじめにルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【中心のワーク】</p> <p>① 前回のふり返りと今回の進め方、企画書の説明を聞く [3分]</p> <p>② 前回のカードをもとにして、企画書の「2 訪れたい場所」を話し合って決める [6分]</p> <p>③ 「3 知りたいこと!してみたいこと!」を、付箋に書く [4分]</p> <p>④ グループで付箋を出し合いながら話し合い、実施したいことを決める [20分]</p> <p>⑤ 具体的な時期、時間、経費などや、テーマを話し合って書く [15分]</p> <p>⑥ グループごとに、企画書の2と3を発表し合う [12分]</p>	<p>・前回まとめた模造紙を見ながら、大まかにグループの特徴を伝える。（内容によってグループとグループが一緒になることも考えられる）</p> <p>・ホワイトボードに企画書の様式を描き、説明する。</p> <p>・訪れたい場所は、3カ所程度とすることを伝える。</p> <p>・似た内容は近くの付箋にはり整理するように伝える。</p> <p>・大切なことや考えたことは、備考欄やメモ欄に記入するように伝える。</p>	<p>ホワイトボード</p> <p>企画書（A3サイズに拡大したものをグループ数）</p> <p>付箋</p>
10分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>① 「今日の感想」を書く ② グループで発表し合う</p>	<p>・バインダーにはさんであるA4用紙に書くように伝える。</p> <p>・全体に広げたいことは、積極的に取り上げる。</p>	<p>A4用紙</p>
	<p>【おわりに】</p> <p>いかがでしたか。訪れたい場所について話し合いました。次回は、今日の企画を実施するための話し合いをしていきます。それまでに、各グループで必要なことは調べておいてください。みなさんの思いが形になるよう、今後も一緒に取り組んでいきましょう。</p>	<p>※それぞれのグループの企画書を人数分渡す。 (A4サイズに縮小コピーする)</p>	

2-④-② 地域の“おたから”を活用しよう

[A3サイズに拡大]

 枚目

“おたから”活用の企画書 () 班

1 テーマ		
2 訪れたい場所	3 知りたいこと！ してみたいこと！	4 備考 時期・時間 経費 など

(メモ)

地域資源の活用を考える